

令和 2 年 5 月 4 日現在

機関番号：13701

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2019

課題番号：16K00746

研究課題名(和文)人間発達を基盤とした幼児期から高齢期までの金融経済教育の体系化

研究課題名(英文)Development of system for financial education from children to old people based on human development

研究代表者

大藪 千穂 (Oyabu, Chiho)

岐阜大学・教育学部・教授

研究者番号：10262742

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、「人間発達を基盤とした、幼児期から高齢期までの金融経済教育の体系化」と題して、4年間ま研究を実践してきた。これまで、16本の論文を発表してきた。大学生、高校生、中学生、小学生、高齢者に対する金融経済教育の授業実践をしてきた。特に中学生、高校生、大学生、社会人に対しては、独自の人生設計ゲームを紙媒体とウェブスタイルで作成し、社会人と高齢者に対しては、100年人生に準備するための「エンディング・プランニング・ゲーム」を開発し実践した。幼少期用は「おこづかいちょう」である。どの段階においても、開発教材により、人間発達がみられたことから、本研究の目的を達成できた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

100年人生を迎えるにあたって、これから人生をどのように生きていくかを常に考えておくことが必要となってくる。本研究では、幼少期から高齢期までゲームやおこづかいちょうを通して人生にかかる費用について1時間で学習できる教材を開発した。実践後、ほとんどの対象者は、人生やお金のことを現実的に考えることができ、具体的にどのようにしたいかを考えることが出来たことから、教材を通して人間発達を促すことが可能となった。

研究成果の概要(英文)：This project focuses on development of system for financial education from children to old people based on human development. During the project, we have published 16 papers. Lessons using "Life Planning Game" and its web application were given to primary school to university students. "Life planning game for retired people" is also developed. For small children, the newly developed "one-month pocketbook" are delivered and 110 primary school students checked their money every day. Through these materials, it is obvious that human development can be seen.

研究分野：家政学

キーワード：金融経済教育 人生設計ゲーム 人間発達 おこづかいちょう

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

近年わが国を含む先進各国において、個人の金融リテラシー向上を目的とした金融経済教育に関心が高まっている。これは特に欧米諸国において、2008年のリーマンショックによって、国民の金融リテラシー不足が明らかとなり、国レベルでの教育体制の見直しが緊急の課題となったためである。米国では、家計運営の健全化を目的とした経済学の基本概念や貯蓄、クレジット等の生活と関連した内容を主とした金融経済教育の普及によって、個人の金融行動の改善が達成され、最終的には経済全体にも好影響が生じる事が期待されている。英国では国をあげて学校教育のカリキュラムの作成等、教育現場での体系的な金融経済教育に積極的に取り組んでいる。しかしどちらもその内容は対症療法的アプローチとなっている。

一方、わが国における金融経済教育は、金融広報中央委員会と金融庁が金銭教育や投資教育を通じて主導的な役割を担ってきた。しかし海外からの影響も受け、2012年に「金融経済教育推進会議」(金融庁、消費者庁、文部科学省)が、金融経済教育に関する初の統一的なガイドライン「金融リテラシー・マップ」(2015年6月改訂)を公表した。また2013年には「消費者教育体系イメージマップ」でも金融教育が位置づけられ、消費者庁でも取り上げられるようになり、金融経済教育は新たな段階に移行した。しかし学習指導要領とは結びついておらず、その主体、内容、方法がまだ確定していない。金融経済教育は外壁がようやくできてきたに過ぎないのが現状である。

2. 研究の目的

本研究では、問題解決型の金融教育だけでなく、時代と共に変化する事柄に、自主的に対処できる自立した消費者を育てるため、教育の視点である人間発達を目的に、幼児期から高齢期の金融経済教育の教材開発とその実践により、新しい金融経済教育の体系化を目的としている。

本研究では、人間発達を基盤としながら、既存の「人生設計ゲーム」の改良版の開発、情報共有のためウェブ版「人生設計ゲーム」の開発、小学生期の金融経済教育教材(お金の見える化おこづかいちょう)の開発、高齢期の金融経済教育教材(エンディングプランニングゲーム)の開発を行い、幼児期から高齢期までの全てのライフステージにおいて人間発達を促す金融経済教育の体系化を目的とする。

3. 研究の方法

- (1)改良版「人生設計ゲーム」の開発(小学校高学年・中学校・高校・大学)
- (2)小学生用「お金の見える化おこづかいちょう」の開発(幼児～小学校低・中学年)
- (3)小学生用「お金の見える化おこづかいちょう」の実践、人間発達の変化の検証
- (4)高齢者用「エンディングプランニングゲーム」の開発
- (5)高齢者用「エンディングプランニングゲーム」の実践、人間発達の変化の検証
- (6)ウェブ版「人生設計ゲーム」の開発
- (7)改良版「人生設計ゲーム」とウェブ版「人生設計ゲーム」の実践、人間発達の変化の検証
- (8)人間発達を促すための新しい金融経済教育の体系化

4．研究成果

研究当初はキャッシュレス社会といった言葉はまだなかったが、2018 年あたりからキャッシュレス社会の普及が叫ばれ、急速にキャッシュレス社会となり、金融経済教育の重要性がますます必至となってきた。本研究では、中学生、高校生、大学生に改良版とウェブ版の「人生設計ゲーム」を開発し、それらを約 1000 人授業実践した。また高齢者を対象とした「エンディングプランニングゲーム」を開発し、高齢者と退職前の人に対して実践した。さらに小学生用に新たな「おこづかいちょう」を開発した。毎日関心が持てるように毎日クイズを解き、正解していればシールを貼ることができるもので、お金に関心を持ち、お金の価値観を得ることができ、キャッシュレス社会に対応できるものとした。これらの開発と実践によって、どれも人間発達が促され、1 回の実践でも現実把握度が高くなることがわかり、これからの 100 年人生を歩むに当たり、極めて有効な金融経済教育であることが明らかとなった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計12件（うち査読付論文 9件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 大藪千穂・二木恵・奥田真之・鈴木雅弓・亀山貴美子・堀江雅子	4. 巻 51
2. 論文標題 高校での金融経済教育 - ウェブ版人生設計ゲーム」とナッジ効果 -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 生活経済学研究	6. 最初と最後の頁 19-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 大藪千穂・二木恵	4. 巻 48
2. 論文標題 家計簿アプリを用いた大学生のための金融経済教育の有効性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生活経済学研究	6. 最初と最後の頁 49-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.18961/seikatsukeizaigaku.48.0_49	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 大藪千穂・政井弘子	4. 巻 14
2. 論文標題 中学生向け「ライフ & マネープラン」の授業実践分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中部消費者教育論集	6. 最初と最後の頁 31-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 二木恵・大藪千穂・鈴木雅弓	4. 巻 14
2. 論文標題 人生設計ゲームWebアプリケーション版の開発と授業実践	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中部消費者教育論集	6. 最初と最後の頁 17-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂・奥田真之	4. 巻 49
2. 論文標題 高校での金融意識・行動からみた保険教育	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 生活経済学研究	6. 最初と最後の頁 15-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.18961/seikatsukeizaigaku.49.0_15	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂	4. 巻 61
2. 論文標題 生活設計とリスク～年金制度のしくみと授業案～	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 じっしょう家庭科資料 みんなで家庭科を	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂	4. 巻 金融・保険リテラシー特別号
2. 論文標題 中学校における保険教育とその効果	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生命保険論集	6. 最初と最後の頁 103-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂・奥田真之	4. 巻 13
2. 論文標題 大学生の金融リテラシーと家計簿記帳による金融経済教育	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 中部消費者教育論集	6. 最初と最後の頁 2-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂・奥田真之	4. 巻 47
2. 論文標題 高校における保険教育の授業実践とその効果	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 生活経済学研究	6. 最初と最後の頁 19-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.18961/seikatsukeizaigaku.47.0_19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂・奥田真之	4. 巻 12
2. 論文標題 高校における保険教育の現状分析	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 中部消費者教育論集	6. 最初と最後の頁 29-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂	4. 巻 44
2. 論文標題 適切な消費選択における情報の役割	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 生活経済研究	6. 最初と最後の頁 29-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.18961/seikatsukeizaigaku.44.0_29	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大藪千穂・奥田真之	4. 巻 45
2. 論文標題 情報活動から見た大学生の金融情報と家計行動	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 生活経済研究	6. 最初と最後の頁 95-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) https://doi.org/10.18961/seikatsukeizaigaku.45.0_95	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計10件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 大藪千穂・奥田真之
2. 発表標題 高校生の保険教育
3. 学会等名 生活経済学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大藪千穂・奥田真之
2. 発表標題 高校における保険教育
3. 学会等名 生活経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 奥田真之・大藪千穂
2. 発表標題 人生設計を保険教育から考える
3. 学会等名 生活経済学会北海道部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大藪千穂・奥田真之
2. 発表標題 高校生の保険教育－情報活動と経済関心との関係
3. 学会等名 生活経済学会中部部会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 政井弘子・大藪千穂
2. 発表標題 子どもの金融教育
3. 学会等名 一般社団法人日本家政学会中部家政学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大藪千穂・奥田真之
2. 発表標題 大学生の家計と情報活動の関係
3. 学会等名 生活経済学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大藪千穂
2. 発表標題 これからの消費生活における適切な選択
3. 学会等名 生活経済学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 大藪千穂・奥田真之・二木恵
2. 発表標題 高齢期の生活設計をサポートするエンディング・プランニング・ゲームの開発と実践
3. 学会等名 消費者教育学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大藪千穂・梶浦玲奈
2. 発表標題 子どもの「おこづかいちょう」の開発による金融経済教育
3. 学会等名 日本家政学会中部支部第64回
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大藪千穂・二木恵
2. 発表標題 ウェブ版「人生設計ゲーム」開発と授業実践
3. 学会等名 生活経済学会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 奥田真之・大藪千穂	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 162
3. 書名 はじめての金融リテラシー	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	奥田 真之 (OKUDA MASAYUKI) (10791353)	愛知産業大学・経営学部・教授 (33927)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	二木 恵 (MEGUMI FUTATSUGI) (40633988)	金沢大学・総合メディア基盤センター・特任助手 (13301)	